

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	A 病院における通院維持透析患者へ透析中の運動療法を実施した効果
研究責任者	聖隷浜松病院 腎臓内科 佐藤太一
研究実施体制	腎センター看護課看護師が中心となり、腎センター運動療法チームを結成して継続して実施します
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2031 年 3 月 31 日
対象者	2025年6月から2030年6月までの間に聖隷浜松病院透析科に通院した維持透析患者さんのうち1日でも透析時運動指導等加算の対象となった方。
研究の意義・目的	令和4年度診療報酬改定により透析時運動指導等加算 75 点（指導開始から90日を限度）が新設されました。 「腎臓リハビリテーションがサルコペニア・フレイルの予防・改善、ADL・QOL の改善、心血管疾患予防による生命予後改善のみならず、腎機能改善・透析移行防止のための新たな治療としての大きな役割が期待されている。」¹⁾当院の外来維持透析患者の65歳以上の割合は65.6%であり、今後高齢化や合併症により通院が困難となる患者の増加が予想されます。透析患者は貧血や低栄養により筋肉量が減少しフレイル、サルコペニアを合併しやすいと言われています。サルコペニア対策として、運動と栄養への介入が重要であり、当院ではNSTによる栄養への介入は行っていますが、運動への介入はされていませんでした。透析患者への運動療法を実施していくために、腎センターにて運動療法チームを結成し、効果的に継続して介入出来る体制を構築し、維持透析患者が当院への外来通院が継続出来るための一助となるよう活動を開始し、その効果を検証します。 1) 上月正博 透析患者のサルコペニア・フレイルと腎臓リハビリテーション透析医療における Current Topics 2021 日本透析医 418 会雑誌 Vol. 36 No. 3 2021
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 初回・3ヶ月・6ヶ月後に実施する、歩行テスト、SPPB、握力を評価した、テンプレート「透析時運動療法評価記録」よりデータ収集し、身体機能評価を分析します。90日間の加算算定時のテンプレート「透析時運動療法実施記録」より実施状況を把握します。 また、診療録よりドライウエイト、透析効率、血液データ、血圧、体重、レントゲン、CT 所見等から運動療法実施後の変化を評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

係る手続き	
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎臓内科（氏名）佐藤太一 TEL: 053-474-2222（代表） 透析科 9:00～17:00 平日